

# 後志4組 さあ演舞

## あす開幕 仕上げ練習に熱



7日から札幌市内で始まる第26回YOSAKOIソーラン祭り(実行委主催、11日まで)に、今年も後志管内から4チームが出場する。各チームはそれぞれの目標を胸に、最後の仕上げの練習に取り組んでいる。

今年で出場10回目の小樽商大の「翔楽舞」は1、3年生約100人が所属。今年のテーマは「共に慶び、共に歩む」で、11チームだけが進めるファイナルステージ出場が目標だ。松本亮輔代表(20)は「支えてくれた小樽の皆さんのおかげで10周年を迎えられた。

がんばります」と話す。

出場2回目の「美花月」は小樽在住の沢田弥生代表(36)が指導する小1〜中1の15人のジュニアチーム。

今年のテーマは「竹取絵巻」で月や竹の葉をあしらった衣装を着る。6人が初出場

といい、沢田代表は「全員が最後まで元気に踊り切る

ことが目標」と話す。

出場19回目の「仁木・舞仁咲乱」は仁木町の7歳〜

77歳の約20人。踊り手40人

未満のチームが対象のU-40枠で大賞を狙う。阿波踊り調の曲を使い、町の名産

さくらんぼの白い花が描かれた衣装を着る。代表で新

おたる農協職員の川端正人さん(48)は「けががないよ

うに楽しく踊って観客を楽しませたい」と語る。

「ヤーレンソーラン積丹



大会を間近に控え朝から晩まで練習する小樽商科大学の「翔楽舞」

町&香美市」は積丹町と姉妹都市の高知県香美市の合同チーム。26回目の出場で、3〜76歳の約50人が、順位を競わない審査対象外チームとして踊り、交流を促進

する。代表で積丹町職員の新野弘樹さん(36)は「北と南のつながりをつくってくれたこの祭りに感謝を込めて踊りたい」と話す。

(有田麻子)

# 伝統の歌若い世代に

## 商大学生歌「若人逍遥」60周年

小樽商大の学生歌「若人逍遥しやうようの歌」ができて今年10月で60周年を迎える。寮生を中心に学内行事などで歌ってきたが、学生歌に対する一般学生の関心が希薄になり、近年は歌える人が減少。そこで応援団員が中心となり歌唱指導の取り組みを始めた。第103代応援団長の佐藤七海さん(19)は「節目の年に歌える学生を増やしたい」と意気込む。

(三坂郁夫)

同大などによると、若人逍遥の歌は北大寮歌「都ぞ弥生」に対抗し1957年10月の北大とのスポーツの定期戦で初披露された。「環かん融りゆうくる緑丘の春曙を逍遥しやうようえは」の歌詞が始まる4章からなり、小樽の春夏秋冬を地名などを盛り込んで約2分間で表現している。現在でも北大定期戦の対面式などで歌われているが、歌える学生は少なくなつた。81年卒業で弓道部所属だった榊田潤さん(60)は「当時札幌市南区在住」は「当時

## 応援団員ら指導に力

は定期戦で到着を知らせるため北大正門をくぐったら歌った。飲み会や学内行事でも必ず歌っていた」と振り返る。別の卒業生は「今は札幌からの通学生が増え、講義と部活で手いっぱい。歌を覚える時間がない。歌える学生は1割にも満たないのでは」と言う。そこで応援団などの学生が、伝統の歌を身近に感じてもらおうと4月から月1回、歌唱指導セミナーを始めた。5月30日の同大でのセミナーには約40人が出

席。初参加した準硬式野球部の1年生、四宮顕人さん(18)は「みんなで歌っているうちに団結力が高まるのを感じた。部活で歌いたい」と話した。

佐藤さんは今年12月に逍遥の歌や校歌などを歌う学生主催のイベントも企画。「商大生であることを自覚でき、世代が違っても一つになれる歌。伝統ある歌を次世代につなげていきたい」と話している。



今年10月に完成60周年を迎える若人逍遥の歌を練習する小樽商大生

メインテーマ  
現代を  
生きる

# 第45回 小樽市民大学講座

会場 小樽経済センター 小樽市稲穂2丁目22番1号

第1講座 7階ホール

6月20日(火)  
午前10時～11時30分  
(午前9時30分開場)



辻井 いつ子氏  
(ピアニスト辻井伸行氏の母)  
明るく、楽しく、あきらめない

第2講座 4階ホール

6月27日(火)  
午後6時30分～8時  
(午後6時開場)



山田 いずみ氏  
(全日本スキー連盟  
女子スキージャンプコーチ)  
夢を追い続けて

第3講座 7階ホール

7月5日(水)  
午後6時30分～8時  
(午後6時開場)



並木 昭義氏  
(小樽市病院局長・  
札幌医科大学名誉教授)  
がん患者の緩和医療に携わる

第4講座 7階ホール

7月11日(火)  
午後6時30分～8時  
(午後6時開場)



保阪 正康氏  
(ノンフィクション作家・評論家)  
平成という時代  
(昭和史の光と影)

第5講座 7階ホール

7月19日(水)  
午後6時30分～8時  
(午後6時開場)



木村 泰知氏  
(小樽医科大学 准教授)  
言葉の観点からみる人工知能

■時間 第1講座  
午前10時～11時30分(午前9時30分開場)

第2講座～第5講座  
午後6時30分～8時(午後6時開場)

■定員 第1～第5講座 各100名

■受講料 全講座受講券:5,000円  
1講座受講券:1,500円

※受講者の都合による受講料の払戻しはいたしませんので、  
あらかじめご了承ください。

■申込期間 平成29年5月16日(火)～6月8日(木)  
※定員になり次第、受付を締め切ります。

■申込場所 小樽市生涯学習プラザ(午前9時～午後5時)  
小樽市富岡1丁目5番1号 電話:0134-24-3363  
北海道新聞社小樽支社(土日を除く午前10時～午後5時)  
小樽市稲穂2丁目8番4号 電話:0134-23-3171

■申込方法

①上記申込場所で直接申し込む場合  
所定の申込書に必要事項を記入し、受講料を添えて申し込んで  
ください。

②郵送・電話・ファクス・メールで申し込む場合

〒047-0024 小樽市花園5丁目10番1号  
「小樽市教育委員会 教育部 生涯学習課内」  
電話(0134)32-4111(内線532) / ファクス(0134)33-6608  
メール syogai-gakusyuka@city.otaru.lg.jp

・土日を除く午前9時～午後5時に事務局で受け付けます。  
・必要事項(氏名・住所・電話番号・希望される受講券の種類・全講座受講券  
希望の方は修了証書の希望の有無)をお知らせください。  
・後日、「整理券」を郵送しますので、受講当日の受付の際に、受講料を添え  
て受講券と引換えてください。

■駐車場の用意はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

主催:小樽市民大学講座実行委員会・小樽市・小樽市教育委員会・北海道新聞社小樽支社

問合せ先

小樽市民大学講座実行委員会事務局  
電話(0134)32-4111(内線532) ファクス(0134)33-6608  
〒047-0024 小樽市花園5丁目10番1号(小樽市教育委員会 教育部 生涯学習課内)

■メール  
syogai-gakusyuka@city.otaru.lg.jp

■小樽市ホームページ(開催案内掲載)  
http://www.city.otaru.lg.jp